

2026年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任				
地理歴史	歴史総合	2	1年次	内山 直希・小林 琢				
選択するときの条件	必修科目なので、必ず履修してください。							
使用教科書	山川出版社 「わたしたちの歴史 日本から世界へ」改訂版	使用副教材	山川出版社 「わたしたちの歴史 日本から世界へ ノート」					
科目の目標			道徳教育のねらい					
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。			よりよい社会の実現を目指す国家および社会の形成者としての態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。					
学習活動内容		育てたい6つの力（資質・能力）						
		1	2	3	4	5	6	
		主体的 学習力	基礎力	思考・ 分析力	発信・ 表現力	自己認知 ・協働力	計画 実行力	
歴史の扉								
1	(1)歴史と私たち(P14～15)	○	○	◎	◎	○		
2	(2)歴史の特質と資料(P16～17)	○	○	◎	◎	○		
第1部 近代化と私たち								
3	(1)近代化への問い(P20～25)	◎	○	○	◎	◎		
4	(2)結び付く世界と日本の開国(P26～41)	○	◎	◎	○			
5	(3)国民国家と明治維新(P42～63)	○	◎	◎	○			
6	(4)近代化と現代的な諸課題(P60～63)	◎	○	◎	◎	◎		
第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち								
7	(1)国際秩序の変化や大衆化への問い(P66～71)	◎	○	○	◎	◎		
8	(2)第一次世界大戦と大衆社会(P72～91)	○	◎	◎	○			
9	(3)経済危機と第二次世界大戦(P92～115)	○	◎	◎	○			
10	(4)国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題(P112～115)	◎	○	◎	◎	◎		
第3部 グローバル化と私たち								
11	(1)グローバル化への問い(P118～125)	◎	○	○	◎	◎		
12	(2)冷戦と世界経済(P126～137)	○	◎	◎	○			
13	(3)世界秩序の変容と日本(P138～163)	○	◎	◎	○			
14	(4)現代的な諸課題の形成と展望(P160～163)	◎	○	◎	◎	◎		
グループワーク		◎			◎	◎		
課題提出		◎			○	◎		
考査			◎	◎			◎	
評価の観点	知識・技能	諸事象を世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。		思考 判断 表現	諸事象の意義や特色などを年代、比較、現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し、解決に向けて考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論することができる。		主体的に学習に取り組む態度	見通しをもって学習に取り組み、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとし、学習を振り返り、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。
	次の3観点において、各資料をもとに総合的に評価し、5段階の評定をする。また、各観点については、到達度により総合的に評価し、A・B・Cの3段階で評価する。							
評価の方法	A: 目標に対する到達度が70%～100%		B: 目標に対する到達度が45%～69%		C: 目標に対する到達度が0%～44%			
	教科・科目における各観点	授業における取組		定期考査など		ノートやレポートなどの課題		
	知識・技能	○		◎		○		
	思考・判断・表現	◎		◎		○		
主体的に学習に取り組む態度		○		○		◎		

